

新たな取り組み ユニフォームで障がい者支援！



モデル：介護福祉学科1年
武田 直華さん、伊藤 瑞生さん

今年度から介護実習用のユニフォームの一部に、REAL HERO(リアルヒーロー)を採用しました。REAL HEROとは『You're someone's hero～あなたは誰かのヒーロー～』をコンセプトに、障がい者スポーツの現状を少しでも改善しようと売り上げの一部を活用し、スポーツ団体やアスリートの支援を積極的に行っているブランドです。その考えに共感し本校でも何かできないかと考え、ユニフォームを変更しました。REAL HEROは車いすソフトボールや車いす卓球などの日本代表ユニフォームも手掛けており、今年度から変更した経緯や、自分たちが着用しているハーフパンツが障がい者スポーツを応援していることになったと知った学生たちは大変喜んでいました。今後も福祉人として、学生一人ひとりが行動につながれたらと思います。

障がい者スポーツの現状

- ・認知度が低い
- ・大会・イベントには身内や関係者がほとんどである
- ・団体に資金力がなく、選手のフォローが不十分
- ・専門器具や活動費など、選手の自己負担が大きい
- ・ボランティアスタッフは多いが、専任職員が少ない
- ・競技環境が整っていない

学校新聞 新タイトル決定！

タイトル採用の学生インタビュー



○採用『く読めばわかる私たちの学び舎』

精神保健福祉学科 佐々木 聖里子さん

みんなに読んでほしいと思って考え、サブタイトルにメッセージを込めました。他の学科の学生とコラボレーションして、交流できるきっかけにもなったので嬉しいです。



○採用『吉福新聞』

介護福祉学科1年 三上 翔平さん

学校新聞をもっと身近に、親しみやすく！と、今年度から学校新聞がリニューアル。それに伴い新聞タイトルを学生から募集しました。たくさん応募の中から選ばれた2名の学生にタイトルに込めた想いをインタビューしました。

く読めばわかる私たちの学び舎

吉福新聞

YOSHIDA キャンパスライフ

南の島で深める仲間との絆 沖縄研修旅行

『楽しい思い出いっぱい!!』
2匹のジンベイザメに感動した美ら海水族館や、伊計ビーチでお肉が美味しく食べすぎたバーベキュー、4泊5日のうち1日自由行動の日を作り介護福祉学科の学生と色んなところに行き仲が深まったことなど、楽しい思い出ばかりです。ホテルのルームキーを無くしかけたことや、エンジントラブルで帰りの飛行機が約2時間遅れたことも含めて、全てが良い思い出です！他学科の学生との交流が深まったこと、沖縄の風土を感じられたことなど、沖縄研修旅行は絶対に参加するべきだと思えました。
【社会福祉学科1年 余湖 紗香】

『男子4人部屋でワイワイ!!』
ホテルの部屋が男子4人部屋だったので、毎晩楽しかったです。点呼で部屋に来てくれる先生をどうサブライズするか考えたり、夜遅くまでたくさん話したりしました！そのお陰で朝起きるのが辛いと思うくらい。でも、それも全部良い思い出です！そして何よりご飯が美味しかったです。しゃぶしゃぶ・沖縄そば・ステーキ・フーチャンブルー・海ぶどう...と何を食べても美味しく、太って帰ってきたクラスメイトもいました。もう一度行きたいと思うくらいとても楽しく、行って良かったと心の底から思いました。
【介護福祉学科1年 伊藤 瑞生】

『一番の思い出はハイキング!!』
パラセーリングは思ったより怖くなく、鳥になった気分が最高でした！観光で行ったパイン園では、美味しい食材がたくさんあり、お土産にたっぷり食材を買って送りました。沖縄の歴史を学び、きれいな海、美味しい食べ物、親切な現地の方との交流、そして沖縄の暑さと、北海道では体験できない貴重な体験ができ、とても充実した沖縄研修旅行になりました。また、クラスの仲間と部屋で語りあったり、普段関わることの少ない他学科の学生とも交流でき、学校生活での大切な思い出になりました。
【保育未来学科1年 小林 紗那】



光る汗、漲る力! 青春の球技大会

学科をこえたチーム戦!

IN 北海きたえーる

『実行委員長を務めて!』
今年度は委員長という立場になったことで、責任を感じましたが、他の学科や学年の人と交流できてよかったです。今年度より保育未来学科も合同になり、はじめはぎこちなかったけれど、最後には打ち解け、学校内でも挨拶する関係ができました。全体的にも人数が増え、活気のある球技大会でした。個人的には、今年度は優勝できたことが嬉しかったです。去年までは悔し涙を飲んでいたのですが、今回競技内容の変更等があり、実行委員長がルールなどを把握していないといけないため責任の重さを感じました。終わった後には達成感があり、得るものもいっぱいありました。実行委員になることで他学科との交流もでき、『輪』が広がりました。楽しい学校生活にもつながります。年に一回しかない行事。来年以降実行委員になる人は自分の自信にもつながるのでぜひ頑張ってください。
【社会福祉学科4年 毛利 鈴乃】

『男子は総合優勝!』
今年から保育未来学科も一緒に球技大会に参加することになり、チームも社会福祉学科4年生と合同ということですが、どんな球技大会になるのか初めは少し心配でした。でも当日は先輩方がとても優しく、試合でもチーム一丸となって挑むことが出来ました。吉田オリンピック(障害物競走)では、ムカデ競争が前に進めず苦戦しましたが、みんなと声を合わせて走り抜けました。どの種目も楽しく全力で行うことができ、クラスのチームワークも高まりました。そしてチームは総合優勝し、思い出に残る球技大会になりました。獲得した商品券の使い道をみんなで考えるのが楽しかったです。
【保育未来学科2年 板垣 郁華】



学科ピックアップ

子どもたちと一緒にリトミック♪

保育未来学科

子どもたちに、音楽や身体を使って表現する楽しさを伝えるものです。1年生の授業では、まず自分自身が楽しんで音楽を聴き、身体を動かすことから始めます。

◎姉妹保育園のわらわら保育園へ

7月に吉田学園さくら保育園に行き、子どもたちと一緒にリトミックを行いました。学生も子どもたちも、初めは緊張した様子でしたが、3〜5歳児さんとピアノに合わせて、歩く、走る、スキップ、フープを使ってドライブごっこなど、みんなで楽しく活動を行いました。学生は子どもたちとの活動を通して、発達段階や心の変化を実感した様子でした。9月は、自分たちで指導案を制作し、指導する立場でリトミックを行いました。自分たちの思っていた通りにはならないことも多かったようですが、みんなで協力して最後まで指導することができました。11月に行う最後の実践では今回の反省を活かしてさらに楽しく活動できるように期待しています。

【担当教員 櫻井 かおる】

◎参加した1年生が感じたこと

・会話をするとき目線を合わせる大切さや、手をつなぐことで子どもとの距離が縮まることを知りました。【石井 寧子】
・最後に行った「ゾウさん」では、3歳の男の子が恥ずかしがってゾウやタヌキをやってくれませんでした。最後に「またやりたいな」と言ってくれて嬉しかったです。【田畑 浩子】

・子どもたちが笑顔で楽しそうにリトミックを行っていたので、私も自然と笑顔になって楽しく行うことができました。

【蛭名 佑乃】



北海道職員採用試験合格!

社会福祉学科



左：大野 綾華さん
《担任の小林先生と》

◎北海道職員を目指したきっかけ

将来は児童のために仕事がしたいと考えており、児童相談所で働いてみたいと考えており、児童相談所が児童や家庭の悩み相談を受ける中心的機関なのだと学習し、そこで働いてみたいと感じるようになりました。

◎北海道職員になるために

一次試験に職務基礎力試験と専門試験があります。私は自力で教養科目を対策するのは難しいと思い、3年生の夏頃から予備校に通って勉強をしました。教養科目を中心に、平日で4時間、休日で8時間は勉強するように心がけていました。専門試験は社会福祉士の勉強をしました。また、二次試験では面接試験があります。予備校や友達の力を借りて何度も練習をしました。

◎公務員を目指すことする人へ!

自分が働きたい職場に出会った時のために、今できることを精一杯やっておきたいです。就職は面接が付きものだと思います。学生時代に自分がどのように過ごしているのか、どのような人と出会ったか、その経験によって何が得られたかが自分の大切なアピールポイントになります。自分が頑張ったと思えることを作っておくと、後で良かったと思う日が来ると思います。そしてぜひ、チャレンジしてほしいです。同じ公務員を目指す仲間をたくさん作って欲しいです。

◎最後に:

公務員試験を通して私が感じたことは、一人では絶対に合格できなかったということです。周りの人たちの支えがあったから今の自分が居るのだと感じています。試験や就職に合格した時に、みなさんもお世話になった人たちに笑顔で『ありがとう』を伝えてほしいと思います。がんばってよかったです!!

【4年 大野 綾華】

介護実習の学び & 実習報告会

介護福祉学科

◎実習先・障害者支援施設きつね苑

言語でのコミュニケーションを図ることが難しい利用者やコミュニケーションが図れるようになったことがとても印象深く残っています。最初は利用者の思っていることが分からず悔しい思いもしましたが、関わりを深めることで目の動きなどの変化に気づき、その方の思いを理解できるようにになっていきました。実習報告会に向けたグループ討議では、他学生の体験談を聞き、自分ももっと考えて行動すれば違った関わりもできたのではと考え、様々な視点が必要であることにも改めて気づくことができました。実習報告会では指導者の衛藤様も参加し、更なる助言も頂くことができました。

【2年 松嶋 聖真】



◎学科長より

実習報告会は、介護実習Ⅱ①終了後、実習の学びを5〜6人のメンバーでグループワークしてまとめ、そのまとめを1年生と実習指導者が聴講する中で発表をしました。今年度は、9施設10名の指導者と今春卒業した先輩1名に参加して頂くことができました。学生は利用者より理解するための工夫や関わりを持っており、その内容をパワーポイント資料や役に立った動画に作成しており多彩な発表方法がありました。1年生の素朴な質問や指導者・同級生の鋭い質問なども多くあり、質疑応答が活発に行われていました。報告会終了後、指導者の下に挨拶に伺い、笑顔と緊張の中にもやり遂げたという表情が窺えていました。長期実習を乗り越え、学生の成長を垣間見た瞬間でした。

【学科長 冨田 美穂子】

平成29年10~12月行事予定

- 学園行事
11/10(金) 吉田学園 スポーツフェスティバル
- 社会福祉学科・介護福祉学科共通
10/2(月)~10/6(金) 介護実習Ⅱ-② (2年)
10/2(月)~11/6(月) 介護実習Ⅰ (1年・1年課程)
11/14(火) 介護実習Ⅰ報告会 (1年)
- 介護福祉学科
12/18(月) 介護福祉士全国模擬試験 (2年・1年課程)
- 社会福祉学科
10/6(金) 社会福祉士全国模擬試験 (3年・4年)
10/22(日) 精神保健福祉士全国模擬試験 (3年・4年)
11/15(水) 卒業研究発表会 (4年)
12/6(水)~12/8(金) 社会福祉主事実習 (2年)
- 精神保健福祉学科
10/2(月)~11/10(金) 精神保健福祉援助実習
10/22(日) 精神保健福祉士全国模擬試験
12/5(火) 精神保健福祉援助実習報告会
- 保育未来学科
10/18(水) 円山動物園見学 (1年・2年)
10/25(水) 幼稚園見学 (1年)
教育実習報告会 (1年・2年)
11/1(水) ポウリング大会 (1年・2年)
11/8(水) 北海道札幌視覚支援学校見学 (2年)
11/15(水) 子育て支援活動 (1年・2年)
11/29(水) 子どもの応急処置 (1年)
12/13(水) クリスマスコンサート (1年・2年)

スナップ写真 ~学園祭~



《学科展示》
・保育の魅力を紹介します!
・介護される人の気持ち体感室



《模擬店》
焼き鳥の部屋
(介護福祉学科)

☆今号の似顔絵コーナー☆ わたし書いた○○先生は??



作：介護福祉学科2年
安部 あすかさん

《ヒント》

担当科目
…生活支援技術・
介護過程・国試
対策など
先生の第一印象
…若くて目がパツ
チリ



作：精神保健福祉学科
岡本 紗英さん

《ヒント》

担当科目
…精神保健福祉相
談援助の基盤
先生の第一印象
…なすびみたいで
可愛い! 優しそ
う&目がキレイ

正解は
ムー
ーを
い



【編集後記】

秋の高い空に涼しい風が心地よい季節となりました。1年生は4月の入学から半年が経ち、学校生活にも慣れてきた頃かと思えます。また、実習期間となった学科も多く、実習先の皆様には学生へのご指導、ご協力を頂きましてありがとうございます。本誌では、学生の普段の姿や授業での取り組みをご紹介します。年に数回の発行ではありますが、学生の成長を見守って頂ければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

発行元

専門学校北海道福祉大学校 学校新聞委員会

所在地：札幌市中央区南3条西1丁目15番地

電話：011-272-6085

ホームページ：http://www.yoshida-fukushi.jp